



Cisco Prime Network Registrar SDK のインストール

このセクションでは、Cisco Prime Network Registrar SDK のインストール方法について説明します。SDK をインストールする前に、JDK 11 がシステムにインストールされていることを確認します。Cisco Prime Network Registrar SDK は別の製品であり、別売りです。

この付録の構成は、次のとおりです。

- [Cisco Prime Network Registrar SDK のインストール \(1 ページ\)](#)
- [インストールのテスト \(2 ページ\)](#)
- [互換性に関する考慮事項 \(2 ページ\)](#)

Cisco Prime Network Registrar SDK のインストール

Cisco Prime Network Registrar SDK をインストールするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 配布された .tar ファイルの内容を展開します。

a) SDK ディレクトリを作成します。

```
% mkdir /cnr-sdk
```

b) 作成したディレクトリに移動し、.tar ファイルの内容を展開します。

```
% cd /cnr-sdk
```

```
% tar xvf sdk_tar_file_location/cnr-sdk.tar
```

ステップ 2 LD_LIBRARY_PATH と CLASSPATH の環境変数をエクスポートします。

```
% export LD_LIBRARY_PATH=/cnr-sdk/lib
```

```
% export CLASSPATH=/cnr-sdk/classes/cnr-sdk.jar:.
```

- (注) システムに Cisco Prime Network Registrar がインストールされている場合は、LD_LIBRARY_PATH/ に /opt/nwreg2/{local|regional}/lib を使用します。Cisco Prime Network Registrar がインストールされていない場合は、ファイルを展開した lib ディレクトリを指定する必要があります。システムがローカルまたはリージョナルクラスタとして実行されていない場合は、cpnr-client キットをインストールすることを検討してください（他のコマンドラインユーティリティにアクセスするため）。次に、LD_LIBRARY_PATH に /opt/nwreg2/client/lib を指定します。

インストールのテスト

次のテストプログラムで PATH または LD_LIBRARY_PATH が正しく設定されていることを確認します。

```
% java -jar /cnr-sdk/classes/cnrsdk.jar
```

互換性に関する考慮事項

以前のバージョンの SDK で開発された Java SDK クライアントコードの場合、最新の JAR ファイルを使用してほとんどのコードを再コンパイルするだけで、アップグレードされたサーバに接続できます。

介在する Cisco Prime Network Registrar のバージョンの『Cisco Prime Network Registrar 11.1 リリースノート』の「SDK Compatibility Considerations」の項を確認してください。これらの項は、SDK の互換性に関する重大な考慮事項を強調しています。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。